

競技注意事項

本大会は 2017 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則(以後「競技規則」と記す)によって行う。

1. 開門時刻 5月5日 7時00分 5月6日 7時00分

2. 練習について

投てき種目はサブトラックが使用できないので、練習はすべて競技場内で指定された時間に主催者、または審判員の指示に従って行うこと。(別表参照)

3. 招集について

(1) 招集所は、競技場 100m スタート付近のゲート近くに設ける。

(2) 招集開始および完了時刻は右記のとおりである。

(3) 選手は、当該種目の招集時刻が来たら、選手招

集所に用意された出場選手一覧表に、第 1 回目のチェック(自分の番号を○で囲む)を招集完了時刻 5 分前までに行う。第 1 回目のチェックは代理人でもよい。

(4) 第 1 回目のチェックを終えた選手は、招集完了時刻 3 分前に招集所の席で待機し、係員による最終点呼を受ける。その際競技者係にユニフォームのナンバーを見せ、確認を受けた後、競技者係の誘導で競技場に入る。2 種目以上(例えばトラック競技とフィールド競技)を同時刻に兼ねて出場する選手はあらかじめ、その旨を本人または代理人が当該競技の招集開始時刻に申し出なければならない。

(5) 招集完了時刻に遅れた選手は当該競技種目を棄権したものとみなして処理する。

(6) 選手の棄権については、大会の権威と運営の円滑を期すため極力避けること。

(7) 混成競技の招集について

1. 1 日目及び 2 日目の最初の種目については、正規の時刻・場所にて行う。

2. 2 種目目以降は競技開始 2 0 分前に競技の行われる場所に集合し点呼を受ける。

3. 途中で棄権する場合は審判長に申し出ること。

4. 混成競技者の控室は原則として自チームのテントとするが、必要とする場合は受付時にその旨を申しでること。

(8) 申込書類受付後の変更は認めない。

4. 競技場への入退場について

(1) 競技役員の指示に従って整然と行う。

(2) 競技を行う選手以外は、トラック・フィールドに立ち入ってはならない。注意に従わない場合は当該選手の競技を認めない場合がある。

5. 競技について

(1) セパレートレーンにおいては、決勝線通過後、自分のレーン(曲走路)を走り他走者の妨害をしないこと。

(2) 競技規則第 144 条の競技中の競技者への助力については特に注意すること。

(3) スパイクシューズのピンは 11 本以内とし、長さは 9 mm 以下とする。但し、走高跳とやり投は 12 mm 以下とする。(二段平行ピンを使用すること)

(4) 次のラウンドに出場するプラス・アルファについては、その競技終了後番組編成員が編成の上、直ちにアナウンサーを通して発表する。但し、同タイムの場合は 1000 分の 1 秒の実時間を考慮し判定する。レーンが不足するときは、次のラウンド、または決勝に出場できる選手は抽選で決定する。

(5) トラック競技の準決勝以後と、フィールド競技の決勝については主催者側で公平に組み合わせの上抽し、走路順、試技順は競技場玄関左側の掲示板に提示する。

(6) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載のナンバーの左 1・2・3……の数字で示す。

(7) ナンバーカードを着用する時は、切ったり、曲げたり、またいかなる方法でもかくしてはならない。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始 30 分前	競技開始 15 分前
跳 躍	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
棒 高 跳	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
投 て き	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前

(8) フィールド競技の試技時間は下表の時間を超えてはならない。(＊は混成競技)

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分＊2分	5分＊3分	—
連続試技	2分	3分	2分

(9) 男子走幅跳の予選通過記録は**6m20cm**とする。

(10) スターターの合図は英語とし、不正スタート1回で失格とする。

6. バーの上げ方について

走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。()は練習の高さ。

走高跳	男子 (1m70) - 1m75 - 1m80 - 1m85 - 1m90 - 1m95 女子 (1m35) - 1m40 - 1m45 - 1m50 - 1m55	男女共以後 3cm ずつ上げる。
棒高跳	男子 (3m20) - 3m40 - 3m60 - 3m80 - 3m90 女子 (1m70) - 1m80 - 1m90 - 2m00 - 2m10	男女共以後 10cm ずつ上げるが、 5m 以後は 5cm ずつ上げる。

上記以後のバーの上げ方と、天候その他の特殊条件によって変更する場合のバーの上げ方は審判長が決める。

第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は**2cm**、棒高跳は**5cm**とする。

7. 用器具について

用器具は主催者の用意したものを使用すること。ただし、やりは競技開始**60分前**にフィニッシュ付近の器具庫前において検査を受け、合格したものに限り使用することが出来る。(投てき用具は全競技者が使用できるものとする)

8. 表彰について

(1) 表彰は決勝終了直後実施する。多種目出場で表彰に出られない場合は必ず代理を出すこと。

(2) 各種目3位までの入賞者に賞状を授与する。優勝者には選手権賞を授与する。(オープン種目除く)

9. 諸届出について

(1) 抗議申立書は競技規則第146条によって総務に提出すること。

(2) リレーメンバー・オーダーは招集完了時刻の1時間前に所定の用紙に記入の上競技者係に2部提出する。決勝においてもメンバーの変更の有無にかかわらず前記のとおり提出すること。用紙は招集所に用意しておく。

◇リレーチームの編成メンバーは、一度予選に出場した後でもそのメンバーを2名以内に限りほかの競技者と交代することが出来る。また、走者順を変えることも出来る。

ただし、交代する競技者は、あらかじめリレー種目、またはそれ以外の種目に申し込んでいる競技者に限る。(詳細は競技規則第170条参照)

10. 県外登録者の参加制限について

◇トラック種目は予選のみ、高さを競う競技以外のフィールド種目は3回の試技のみとする。

[島根県の代表を選考または決定する大会であるため]

11. その他

(1) 発病、負傷に対しては応急処置以外の責任は負わない。医務室は本部席に置く。

(2) 競技場内に、携帯電話等の通信機器を持ち込むことはできない。また、衣類等については、(公財)日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に従う事。

(3) 更衣室は指定された場所を使用すること。貴重品の管理は各自で行うこと。紛失の責任は負わない。

(4) 選手、監督共に競技人としてのマナーを自覚しよう。

(5) 本大会で8位以内・競歩競技3位以内の入賞者及び標準記録を突破し本大会の推薦を受けたものは中国五県対抗選手権大会の出場権を得る。但し、混成競技とオープン種目は除く。

◎ 競技場 開閉・閉門時刻

	5/4	5/5	5/6
開 門		7 : 00	7 : 00
閉 門	18 : 00	18 : 30	

◎ 本競技場での練習時間割り当て

	5/4	5/5	5/6	備 考
トラック競技	13 : 00～17 : 30	7 : 10～8 : 40 競技終了～18 : 00	7 : 10～8 : 40	1～2 レーン 中長距離種目 3～6 レーン 短距離種目 7～8 レーン ハードル種目 フィールド内は 投擲関係者のみ 立入りを認める。
跳躍競技	13 : 00～17 : 30	7 : 10～8 : 40 競技終了～18 : 00	7 : 10～8 : 40	
砲丸投	13 : 00～17 : 30	7 : 10～8 : 40 競技終了～18 : 00	7 : 10～8 : 40	
やり投	14 : 00～15 : 30	競技終了～18 : 00	7 : 10～8 : 40	
円盤投	15 : 30～17 : 00	7 : 10～8 : 10		
ハンマー投	競技開始前の練習のみ			

◎ その他練習会場

5/5・5/6の練習会場としては、体育館裏の自由広場、野球場裏の小球技場、プール横のグリーン広場が使用できる。ただし、投擲種目の練習はできない。またグリーン広場は人工芝のため、スパイクピンを使用しての練習は禁止する。

※注意事項

- 1.練習は監督者のもと、指定された場所で指定された時間に行い、事故防止に十分配慮すること。
- 2.練習場には、選手・監督・コーチ以外は立ち入らないこと。
- 3.練習に使用する器具は、原則として各自持参すること。
- 4.全天候舗装は、9mm以下のスパイクピンを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以下のスパイクピンが使用できる。
- 5.投てき練習は監督付添いのもと、特に危険を伴うので係員の指示に従い、十分注意して練習すること。